

雨の季節になりました。
足元に気をつけて
遊びにきてね！
中でゆっくりあそびましょう。

高校生ボランティアのおはなし会

- ・ 7月1日(土) 午前10:30～
アンパンマンの紙しばいや楽しいおはなし
がいっぱい。七夕かざりをつくりま
す。
・ 場所 馬頭図書館 じどうしつ

たのしい絵本と紙しばいの会

- ・ 7月6日(木) 午前10:30～
小さなお子さまのためのおはなし会です。
親子でご一緒にお越しください。
・ 場所 馬頭図書館 視聴覚室

婦人ボランティアのおはなし会

- ・ 7月8日(土) 午後2:00～
おはなしじょうずなボランティアさんが、
昔ばなしの絵本や紙しばいを読んでくれます。
・ 場所 馬頭図書館 じどうしつ

読書会

- ・ 7月12日(水) 午後1:30～
テキスト 「糞尿譚」
火野葦平／著
和やかな雰囲気です。
興味のある方はお気軽にどうぞ。
・ 場所 馬頭図書館 視聴覚室



今月の表紙

5月21日、真夏を思わせるような日差しの中で武蔵小学校運動会が行われました。
「輝け！友情の力で優勝めさせ」を運動会スローガンに48名の児童たちは今まで練習してきた成果をおじいちゃんやおばあちゃんの前で披露していました。

父の日のプレゼントづくり

- ・ 6月17日(土) 午前9:30～
大好きなお父さんへ手作りクッキーをつくりま
しょう。
参加費 100円
申し込み 14日(水) まで

なかよしひろば

- ・ 6月21日(水) 午前10:00～
ふうせんであそぼう！
おやつ代 50円
申し込み 17日(土) まで

遠足

- ・ 6月24日(土) 午前9:00～午後3:00
場所 那須野ヶ原公園(那須塩原市)
(雨天時 子ども総合科学館)
参加費 無料(雨天時 入館料210円)
申し込み 21日(水) まで 30名で締め切りです。
※申し込み用紙が児童館にあります。取りに来てください。

生け花教室

- ・ 6月25日(日) 午後1:30～
初夏の花をさわやかにいけましょう。
会員以外で参加したい方は21日(水) までに申
し込んでね。
・ 花代 700円

なかよしひろば

- ・ 7月6日(木) 午前10:00～
七夕まつりごっこをしよう！
参加費 100円
申し込み 5日(水) まで

手芸教室

- ・ 7月9日(日) 第1回 午前10:00～
第2回 午後1:30～
フェルトでかわいい小物をつくりましょう。
申し込み 6日(木) まで ・材料費 100円

生け花教室

- ・ 7月15日(土) 午後1:30～
フラワーアレンジメントをしよう。
会員以外で参加したい方は12日(水) までに申
し込んでね。 ・花代 700円

「児童館」
6月16日～7月15日
のお休み

開館時間 午前9時～午後5時

☎0287-96-3109

日	月	火	水	木	金	土
					6/16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	7/1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15

那珂川町の文化財シリーズ
ぎょうろ
縄文時代の漁撈事情

六月一日に那珂川のアユ釣り解禁となりました。太公望の方々にとっては、待ちに待った季節の到来ではないでしょうか。そこで今回は、漁撈（魚とり）の歴史について取り上げようと思います。

日本における漁撈のはじまりは、縄文時代草創期（今から約一万二千年前）までさかのぼります。この頃から徐々に気候が温暖化し、魚貝類が多く生息する干潟が形成されたことから、漁撈がはじまったと考えられています。縄文時代以降、水産資源の利用が盛んになったことは、数多くの貝塚からも知ることが出来ます。縄文時代で最も暖かかった前期（今から約六千年前）には、現在よりも気温が二〜三度高く、栃木県でも藤岡町には、海水が流入する汽水域の河口に棲むヤマトシジミを主体とする貝塚が残されています。このことから、満潮時にはこの付近まで海水が入り込んでいたことがわかります。次に、縄文時代の漁具と獲

物について見ていきます。漁具には、釣針・漁網・モリやヤスなどがあります。モリはおもに海で大型魚や海獣を捕るときに使われていたようで、海岸近くの遺跡から出土しています。釣針は、海釣りでは「し」形、川釣りではまっすぐな形のものがおもに使われています。釣針の素材はほとんどが鹿角ですが、現在と同じ形のものも多数出土しています。この他、竹などを筒状に編み、魚類を誘導する道具の「うけ」や、木や竹などで魚が末端に迷い込むようにした施設の「えり」も見つかっています。獲物としては、海ではタイやマグロからイワシまで、川や湖沼では、サケやアユ、コイ、ウナギなど、大きささまざまな魚が捕られていました。漁具と獲物の多様性から、獲物に応じて漁具を使い分け、巧みに漁を行っていた様子がわかります。

ところで、縄文時代に那珂川町で暮らしていた人々は、どのような生活をして魚を捕っていたのでしょうか。左の写真にありますが、一見ただの石ころのようには見えませんが、切り込みや溝があります。これは、「石錘」と呼ばれているもので、漁網に取り付ける錘と考えられています。町内では三輪仲町遺跡など、縄文時代の遺跡から多数出土しています。他の漁具はヤス一点しか見つかっていないので、当時は網漁が盛んだったことがわかります。また魚骨そのものは見つかっていませんが、獲物は那珂川を遡上するアユやサケ、ハヤなどと思像できます。



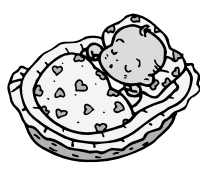
石錘 (三輪仲町遺跡)
硬い石を加工して石錘をつくる姿を想像すると、当時の人々の漁撈にかける真剣な思いが伝わってきます。
（なす風土記の丘資料館 学芸員 伊藤良枝）



石錘と漁網(複製)
小川館にて展示しています

うぶごえ

(氏名)	(父母の名)	(住所)
滝田美奈心	知朗	馬頭
石澤 優菜	真由美	馬頭
杉森 天維	尚人	馬頭
岡 美羽	由紀子	馬頭
益子 隼斗	宮直行	大内
小村 勇晴	杉森晴晝	大内
久保田智恵理	哲夫	大内
	里美	大内
	正人	大内郷
	良和	小川
	宣寿	浄法寺
	理津子	



おくやみ

(氏名)	(年齢)	(住所)
五味淵アヤ	(90)	馬頭
袖山新太郎	(66)	馬頭
三尾谷シツカ	(86)	馬頭
西宮 美治	(80)	馬頭
郡司キミノ	(96)	健武
深澤 幸絵	(22)	矢又
小高 朔男	(68)	和見
小林 キヌ	(90)	小口
湯本 せつ	(86)	盛泉
星 八重子	(69)	大内
齊藤 コト	(84)	大那地
益子 敬市	(74)	大内郷
大津 ハツ	(82)	大内郷
飯山 ヨネ	(84)	小砂
野辺 香	(75)	小川
深澤チエ子	(70)	小川
奈良 タキ	(88)	小川
川井 瑞子	(54)	東戸田
佐藤 キイ	(94)	芳井

※掲載は希望者のみです。

お詫びと訂正
五月号に掲載した「寄贈ありがとうございました。ごさいます」の中で
○福祉基金へ
三万円 武茂の組合様(馬頭)を
三万円 武茂の郷組合様(馬頭)に
お詫びして訂正いたします。

6月1日現在の人口
(住民基本台帳)

男	10,118人 (-11)
女	10,141人 (-19)
計	20,259人 (-30)
世帯数	5,977 (-2)

()内は前月との比較